

霊操第4週

221 第三の準備

望んでいるものを願う事。ここでは、我が主キリストのこれほどの大きな栄光と喜びゆえに、烈しい喜悦を覚えるための恵みを願う。

223 要点第四

受難では隠れているかに見えた神性が、今、復活において、その真正で尊い効果を通し、くすしくも見え、現れる事を考察する。

224 要点第五

友人同士が普段はどのように慰め合うかに較べて、我が主キリストがもたらす務め、すなわち、人を慰める務めを考察する。

229a 付則第二

目覚めるとすぐ、これから行う観想を目の前に置き、我が主キリストのこれほどの喜びと喜悦のゆえに、感動と喜びの心を起こそうとする。

229b 付則第六

栄光のような、楽しさや嬉しさや霊的喜びを引き起こす事柄を思い浮かべて考察する。

229c 付則第七

霊魂が自分の創造主と贖い主において喜ぶために助けとなる、又は助けとなるだろうと思うところに従い、明るさと心地よい温度を用い、例えば、夏には涼しさ、冬には日差しや温かさをを用いる事にする。

229d 付則第十

苦行の代わりに適度と万事における中庸を目指すが良い。但し、教会の命じる大齋と小齋の場合は、その限りでない。なぜなら、合法的な障害がなければ、その掟をいつも守るべきだからである。

◆イエス、マグダラのマリアに現れる ヨハネ 20, 11-18

20:11 マリアは墓の外に立って泣いていた。泣きながら身をかがめて墓の中を見ると、
20:12 イエスの遺体の置いてあった所に、白い衣を着た二人の天使が見えた。一人は頭の方に、もう一人は足の方に座っていた。20:13 天使たちが、「婦人よ、なぜ泣いているのか」と言うと、マリアは言った。「わたしの主が取り去られました。どこに置かれているのか、わたしには分かりません。」20:14 こう言いながら後ろを振り向くと、イエスの立

っておられるのが見えた。しかし、それがイエスだとは分からなかった。20:15 イエスは言われた。「婦人よ、なぜ泣いているのか。だれを捜しているのか。」マリアは、園丁だと思って言った。「あなたがあの方を運び去ったのでしたら、どこに置いたのか教えてください。わたしが、あの方を引き取ります。」20:16 イエスが、「マリア」と言われると、彼女は振り向いて、ヘブライ語で、「ラボニ」と言った。「先生」という意味である。20:17 イエスは言われた。「わたしにすがりつくのはよしなさい。まだ父のもとへ上っていないのだから。わたしの兄弟たちのところへ行って、こう言いなさい。『わたしの父であり、あなたがたの父である方、また、わたしの神であり、あなたがたの神である方のところへわたしは上る』と。」20:18 マグダラのマリアは弟子たちのところへ行って、「わたしは主を見ました」と告げ、また、主から言われたことを伝えた。